

刊 行 の こ と ば

21世紀も間近に迫り、激動する社会変革の中で子どもたちを取り巻く環境は大きく変わりつつあります。わたくしども教育研究所は、1980年に設立され、教育文化福祉事業に携わる当社の教育研究機関として、教育動向分析、子どもや教師の意識・実態調査、教材研究等を行ってまいりました。これらの研究成果は、小中高校生を対象とした調査報告書「モノグラフ」や、中学校教師を対象とした教育情報紙「進研ニュース」、教育に関する今日的課題に焦点をあてた「研究紀要」の刊行、あるいは国際教育シンポジウムを始めとする各種講演会の開催などを通して教育関係の方々に情報提供させていただいております。これまでの調査研究活動にご指導ご助言ご協力をいただきました多くの方々に対し、心から御礼申し上げます。

さて、今回発刊いたしました「学校教育へのコンピュータ導入の現状」は、平成5年度からの新学習指導要領に基づいてコンピュータを用いた授業が行われるのを直前にした、中学校の実態を明らかにするために実施した調査のレポートです。全国の教育委員会や教育センター・教育研究所など、各地域の小中学校へのコンピュータ導入を直接、担当している方々の声を集約することで、コンピュータが今後、どのように子どもや教師、学校に影響を与えていくのか、その可能性や問題点を浮き彫りにしようと考えました。調査・分析にあたりましては、南山短期大学の樋田大二郎助教授（平成5年4月から聖心女子大学助教授に就任予定）にご協力いただきました。また、アンケートにご協力いただきました全国都道府県、市区町村の教育委員会、教育センター、教育研究所の方々にはこの場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

この報告書が多くの皆様のお役に立てれば幸いです。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしく御礼申し上げます。

福武書店教育研究所

目 次

調査の概要	3
本報告書の要約	5
分析の道具となる変数について	7
第1章 ハードの設置とソフトの利用方法をめぐって	9
1. コンピュータ・ハードを設置していない割合	10
2. ソフトの選定方法	11
3. 望ましいソフトの購入方法	13
4. ソフト・ライブラリ	15
5. ソフトの著作権についての意見	17
第2章 コンピュータの授業での活用をめぐって — その利用形態と可能性、問題点 —	19
6. 「情報基礎」での重点	20
7. コンピュータを当面、どの教科で利用するか	22
8. 今後、管轄地域の中ではコンピュータをどのように使う予定か	24
9. 教育へのコンピュータ導入を推進するための組織	28
10. コンピュータの導入による中学校教育の変化について	31
11. 学校でのコンピュータ利用の問題点	34
第3章 教師のコンピュータ活用能力と研修をめぐって	37
12. 教師のコンピュータを利用した教育への心構えやコンピュータ活用能力	38
13. どのような目的の研究や研修をしているか	41
14. 管轄地域内での教師の自主的な研究活動	45
第4章 自由回答から	47
15. コンピュータの利用方法に関連した回答	48
16. 予算措置と関連した回答	49
17. ソフトウェアに関連する回答	50
18. 学校間の交流、互換性に関連した回答	52
19. ハード・ウェアに関連した回答	53
20. 教員の研修に関連した回答	54
21. 学内のコンピュータ活用推進体制に関連した回答	55

